



CRITICAL SITUATION RESPONSE PLAN

For Presbyteries & Churches

ABSTRACT

This document is designed to assist presbyteries in their disaster preparedness and the development of a CSRT. It is the result of a conversation between ministers and presbytery leaders who have experienced disasters in their presbyteries, churches, or personal ministry settings

危機管理対応チームのベストプラクティス

危機的状況対応チーム

はじめに

災害とは、短期的または長期的に発生し、地域社会に大きな混乱をもたらし、地域社会の資源を利用して対処する能力を超える深刻な事態のことである。災害には自然災害と人為的災害がある。災害の例としては、竜巻、洪水、ハリケーン、火災、暴力による破壊などがある。第 190 回総会は、各中会に危機状況対応チーム（CSRT）を創設し、中会の範囲内で災害が発生した場合に機能するように指示した。

この文書は、各中会が災害への備えと CSRT を構築することを支援するために作成されたものである。これは、中会、教会、または個人的な奉仕活動の場で災害を経験した牧師と中会指導者との対話の結果である。以下の牧師がその見識と提言を提供してくれました。ドニー・アクトン師（グレース長老教会）、レスリー・ジョンソン師（レッドリバー長老教会）、ローラ・カーナー長老（コベナン長老教会）、タイラー・リンゼイ師（カンバーランド長老教会）、オリー・マクルン長老（グレース長老教会）、ジェフ・マクマイケル師（カンバーランド長老教会）、ヴォルフガング長老（グレース長老教会）、シエラオマラ師（デルクリスト中会, PDMT 委員）、クリスチャンスミス師（マーフリースボロ中会）、パムフィリップスバーク（教職局チームリーダー）。

この資料では、「危機的状況対応計画」を作成する際の「最善の実務」を紹介します。各中会は、それぞれの環境とニーズに合った計画を作成することが推奨されます。複数の郡、市、あるいは州にまたがる長老教会では、複数の計画が必要な場合もあります。危機的状況対応チームは、必ずしも定期的に会合を開く必要はありませんが、災害が発生した場合には活動することになります。この計画は、毎年 CSRT によって見直され、予備的な議事録に含まれる必要があります。これは、長老管区内の教会が災害時に使用するために、そのコピーを持つことになるからです。

災害時は不安や恐怖をもたらします。備えをしておくことで、不安や不確実性を和らげることができます。さらに、災害が起こったとき、神様の言葉は慰めと力の源となります。詩篇の中で、「神は私たちの避け所であり、力であり、悩みの中であって常に助け

となってくださる。だから、たとえ地が砕け、山々が海の真ん中に落ちようとも、私たちは恐れない」。(詩篇 46:1-2)

このマニュアルは、計画の進展に応じて、長老院／教会が追加できるように設計されています。電子版の Word 文書は、
<https://cpcmc.org/wp-content/uploads/2022/08/CSRT-Best-Practices.docx>

災害の前に

- **クリティカル・シチュエーション・レスポンス・チームの結成**

- 伝道委員会委員長または代表者
- 教職委員会／教職ケア委員長または代表者
- 中会書記
- 中会財務
- 中会議長
- 中会全体からの委員

このチームには、議長が必要です。委員長は、緊急事態が発生した場合、電話やメールでチームを起動させます。このチームは、中会の範囲内で災害や危機が発生しない限り、集まる必要はありません。

中会全体からの委員がどのようにローテーションし、新委員がどのようにローテーションしていくかを決定します。

この計画は毎年見直され、中会の議事録に記載される必要があります。

- **地元/地域の支援組織/機関の連絡先一覧を作成する。名前と連絡先が必要です。**

- EMS ディレクター
- 警察署長／代表者
- アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁
- 赤十字
- 救世軍
- 精神医療関係者
- 災害時には、通常、地域のグループ（多くの場合、上記の機関や人々で構成される）が迅速に設立されます。地域社会の計画を知り、その計画を中会の教会に伝えましょう。

- **財務/寄付/記録管理**

- 中会の災害援助の項目/または別のアカウントを設定する。
- すべての寄付は、謝辞と正しい領収書が必要です。

- もし、教団のミッション・ミニストリーチーム（MMT）を通して寄付が行われた場合、その寄付は承認され領収書が発行され、その後、その資金は指定された中会の団体に転送されることになります。（この文書の最後に、MMT 災害救援基金の規約があります。）
 - 寄付された資金をいつ、どのように分配するかを決定します。寄付金は適時に分配する必要があります。
 - 寄付の受領と分配の金額を中会に報告する。
 - このチームは、教会が十分な補償を受けられるよう、災害保険の内容を見直すことを勧めるべきでしょう。保険が十分でないことを発見するのは、災害の前であり、後ではありません。
 - ボランティアや寄付の記録を残す-吟味すべき事柄とお礼のため
 - 誰が助け、誰が寄付をし、どのようなストーリーがあったのか、危機を記録することが重要です。語り継ぐことは、復興において重要であり、また、経験者のリソースを蓄積し続けることにもつながります。
- **災害後のトラウマとメンタルヘルスの問題**
 - 災害が起こる前に、メンタルケアのためのリソースを知っておきましょう。
 - 地域のメンタルヘルスの診療所の名前と連絡先を確認しましょう。もしかしたら、あなたの中会や教会に、指導を行うことができる訓練を受けたソーシャルワーカーやカウンセラーがいるかもしれません。これらのリソースを前もって知っておくことが重要です。この文書には、名前と連絡先を記載してください。
- **セキュリティ**
 - 災害時のセキュリティ問題（確保した場所の安全、寄付、詐欺行為など）に関するトレーニングの受講を検討する。地域の情報機関に問い合わせる。この問題に事前に注意を払うことで、将来の災害への備えがより強固なものになります。

災害発生時

- **すべての寄付を受け取り、確認し、受領する。**もし、中会内の教会が、教派のMMTを通さずに寄付をした場合、どこに送ればよいかを知っておくことが重要である。MMTを通したすべての寄付は、領収書と謝辞を受け取ることを忘れないでください。MMTはその後、すべての寄付を指定された中会の受取人に転送します。
- **災害時には、確保した場所の安全確保が重要になります。**多くの場合、地域の緊急機関がセキュリティの境界線を提供します。そうでない場合は、このチームはそれらの問題を検討する必要があります。
- **詐欺行為** - 寄付や資源を利用しようとする詐欺師に対処するため、支援を求めに来る人々を審査する方法を前もって準備しておく。地元の緊急援助隊に、セキュリティの手順や、支援を求めてくる人々の審査について確認してください。
- **被災した教会・牧師にすぐに連絡する。**その後、必要性、計画、支援方法について中会内の教会と連絡を取る。
- **被災した教会の牧師は、すぐにでもサポートを必要としています。**
 - 被災した教会では、電話対応や牧師のサポートなどのボランティアが必要な場合があります。
 - 牧師をサポートするために、牧師が教会や地域、生活の危機に対処している間、数日間説教壇を埋める人を見つける（必要な場合）。
 - 牧師のサポート役となる人を任命する。
 - 牧師／牧師家族のために、教団の従業員支援プログラム（EAP）やその他のメンタルヘルス関連のリソースに関する情報を提供する。
- **被災した教会では、寄付や電話対応など会員以外のボランティアが必要な場合があります。**
 - 中会の他のメンバーがどのようにサポートできるかを教会に確認します。そして、その必要性を各教会に伝える。他の教会のメンバーは、その状況に希望をもたらすことができます。
 - ボランティアや寄付をまとめる担当者、ボランティアを「審査」する担当者などを選任する。

- 災害時やその後に、祈りのサポートが必要とされます。この重要な支援と資源を提供するために、このチームまたは中会がどのように意図的に行動するかを決定します。

災害の後に

- 精神的健康、経済的、霊的生活について、引き続き牧師と確認し合う。EAP のリソースを再確認します。
- **トラウマに焦点をあてた支援** - トラウマは災害後初めて表面化することが多いです。
 - 牧師や教会員にリソースを提供する準備をしておく。教会全体または中会全体で、トラウマとメンタルヘルスに特別な注意を払う報告会を検討します。
 - また、子どもやティーンエイジャーも大人と同じように災害の影響を受けるので、その人たちの心のケアも大切にしてください。
- **危機が迫ってから数週間後に、「報告」と「解散」のセッションが必要かもしれません。** 災害を経験した人たちと連絡を取ることを検討する（名簿／連絡先リストは本書の最後に掲載）。主要なリーダーがメンバーや自分自身のトラウマを認識するためのトレーニングが必要かもしれません。地元の機関、教団、全国的な組織からの支援を探す。
- **作業チーム** - CSRT は、最初のクリーンアップと復旧の後も、継続的なニーズや作業を監視することを望んでいます。地域外から来る作業チームのための連絡先があることを確認します。これは、CSRT の議長、地元の牧師、または他の人物であるかもしれません。教団の宣教省チーム（Director of Congregational Ministries, Rev. Kristi Lounsbury, klounsbury@cumberland.org, 901/276-4572, x263.）と協力する。

教派のリソース

- この CSRT のディスカッショングループのメンバーで、災害の危機を直接経験したことがある人たち
 - Donny Acton - donnyacton@gmail.com
 - Pat Driskell - patprespax@yahoo.com
 - Leslie Johnson - pastorlesliej@gmail.com
 - Lora Rogers Kerner - lkerner@bellsouth.net
 - Tyler Lindsey - atlindsey@memphisseminary.edu
 - Nate・Matthews - revnatemathews@gmail.com
 - Ollie McClung - olliewjr@bellsouth.net
 - Jeff McMichael - revmcmichael@outlook.com
 - Shelia O'Mara - chaplainshelia@aol.com
 - Christian Smith - christian@cookevillecpchurch.org
- クリスティ・ラウンズベリー - 宣教省チームの会衆派ミニストリー
(klounsbury@cumberland.org; 901/276-4572, x263)
- パム・フィリップス・バーク - 牧師開発省チームリーダー
(pam@cumberland.org; 901/276-4572, x203)
- マット・ゴア - Interim Communications Ministry Team Leader
(mgore@cumberland.org; 901/276-4572, x221)
- MMT 災害支援基金規約（巻末に掲載）

トレーニングの機会

- CSRT と中会の他のリーダーを対象に、災害対応と復興、同情することでの心疲労(compassion fatigue)と PTSD への対応（内容、症状、対応方法など）について定期的に研修を行うことを検討する。
- 新規または継続的なトレーニングについて、教派のリソースを確認する。

必要なリソース

それぞれの災害（竜巻、ハリケーン、銃撃、火災など）は独特であり、固有の資源を必要とします。最も一般的な自然災害の場合、次のようなものがすぐに必要になることがあります。

- 発電機
- 大型掃除機
- マックバケット-ゴム手袋、漂白剤などの清掃用品を入れたもの。
- トラック
- チェンソー
- スコップ、ほうき。
- スピリチュアルなサポートがすぐに受けられる体制
- トラックからの物資の積み下ろし、仕分け・整理のボランティア

この資料は、中会が災害対策に着手するためのガイドとして提供されています。この資料のすべてをすぐに実行することはできないかもしれません。最も重要なものを選んで始め、徐々に追加して行ってください。傷や痛みがあるときに、優しさ、サポート、愛が提供されるとき、神の存在が鮮明になります。教会は、危機の際に必要とされるサポートを提供することができます。あなたの中会がよりよく準備されていればいるほど、より多くの奉仕をすることができます。教会・中会としての限界を知り、奉仕の機会を受け入れても、すべてをやろうとしないことが大切です。

"私はあなた方に命じなかったか？強く、勇気を持ちなさい。恐れることなく、落胆することなく、あなたの神、主はあなたの行くところどこにでも共におられる。ヨ

シュア記 1:9

災害対応プロトコル

米国で災害が発生した場合、会衆ミニストリーディレクター（DCM）は、コミュニケーション・ミニストリーチーム（CMT）を補佐し、情報収集、ボランティアの調整、教会や個人に対する災害資金の正しい方向への誘導を支援する役割を担います。災害が起こったとき、ミニストリーカウンシルがどのような対応、責任、役割を果たすのか混乱することがあります。災害のニュースが流れ始めると、カンバーランド長老教会から詳細を知りたいと電話やメール、またはテキストが殺到することがよくあります。MMTでは、地域の団体や個人が適切な災害対応を行えるよう、以下のガイドラインを教会指導者に共有するよう求めています。

米国内の災害。緊急連絡先：Kristi Lounsbury, 901-276-4572, Ext 263, cell 940-435-5077, klounsbury@cumberland.org.

米国外での災害緊急連絡先：Lynn Thomas, 901-276-4572, Ext 261, cell 205-601-5770, lynndont@gmail.com.

1. 災害の発生を知ったミニストリーカウンセルの担当者は、電話、メール、テキストなどで、すぐに適切な連絡先に知らせます。
2. その後、Congregational・ミニストリーディレクターまたは世界宣教ディレクターが、MMTリーダー、ミニストリーディレクター、臨時CMTリーダーにメールを送ります。
3. Congregational・ミニストリーディレクターまたは世界宣教ディレクターと臨時CMTリーダーが、その時点で判明していることを反映した最初の公表を調整します。
4.
 - a. 教団全体
 - b. MC ウェブサイト cpcmc.org に掲載します。
 - c. ソーシャルメディアに掲載します。
 - d. スタッフはそれぞれのソーシャルメディアページで共有します。

- e. CMT に更新情報を送信します。
 - f. ソーシャルメディアページに適時更新情報を掲載します。
5. 米国での災害：もしミニストリーカウンセルのメンバーが、災害時に CP のリーダー（牧師、会員など）が関わっていることを知った場合、その旨をコングリゲーション・ミニストリーディレクターに連絡し、援助の調整を図ることができるようにします。その後、ディレクターは前述の人物に連絡を取り、災害への結束した対応を確立するために協力します。